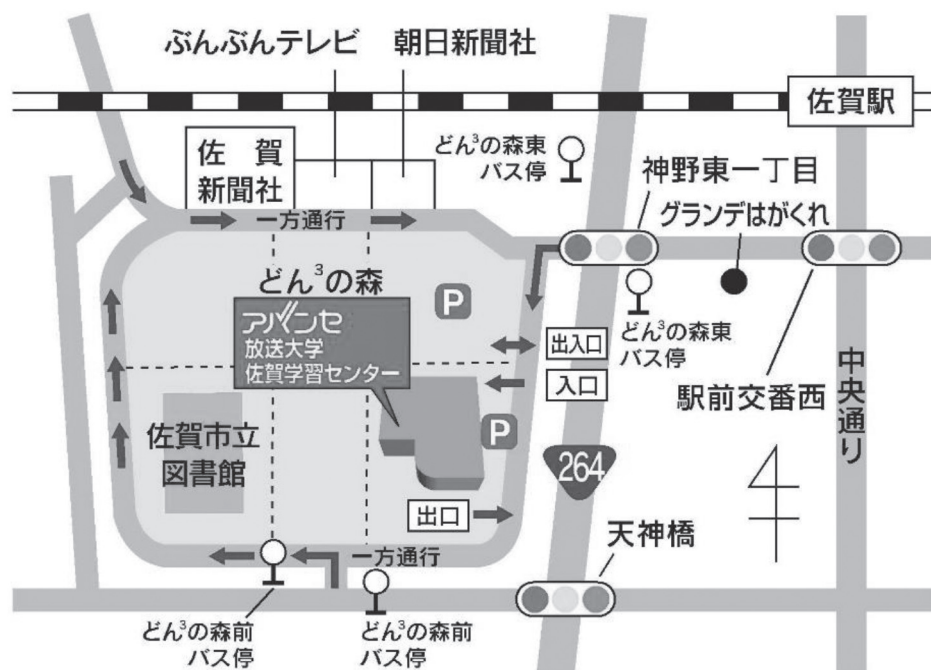


佐賀学習センター

(コード：41A)

佐賀学習センター案内図 ☎0952-22-3308



【所在地】〒840-0815 佐賀市天神3-2-11
(佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター(アバンセ内))

【交通アクセス】

●JR佐賀駅から徒歩10分

JR 佐賀駅の南口から駅前中央通りを南に約 200 メートル進み「駅前交番西」交差点を右折、そのまま400メートルほど進み「神野東一丁目」交差点(国道264号線が交差)付近で左前方にアバンセ(薄いピンク色の4階建)が見えます。

●JR 佐賀駅からバス

佐賀駅バスセンター4番乗り場→58番「中折・クレオパーク鍋島」行き又は59番「鍋島駅北・クレオパーク鍋島」行きに乗車→「どん3(どんどんどん)の森前」バス停下車。(所要時間約5分)

【自家用車ご利用の方】

●駐車場

アバンセ北側の駐車場(無料)をご利用ください。利用時間は、(火～土)8:30～22:00、(日)8:30～17:00です。利用時間外は施錠されます。その他、駐車場に関する件は佐賀学習センターにご連絡ください。

【その他連絡事項】

佐賀学習センターの面接授業で使用する教科書は、インターネット・書店にて各自購入してください。時間がかかる場合がありますので早めに準備をお願いします。

佐賀学習センターでは昼食の注文は受付けておりませんので、各自でご準備ください。

科目コード	2660148	授業概要	この授業では、記憶や物忘れの仕組み、記憶力をサポートする戦略などを学習することから、なぜ物忘れがおこるのか、またどのように物忘れを予防できるのかを学習していきます。さらに、認知症の基礎知識を学びつつ、健康な高齢者の物忘れと認知症との違いに関する理解を深めていくとともに、認知症予防に関する様々な取り組みを学習していきます。最後に、一人一人が暮らす地域を、認知症になっても安心して暮らせるまちと変えていくために何が必要かを考えます。 【授業テーマ】 第1回 記憶の仕組み～物忘れはなぜおこるのか 第2回 加齢に伴う記憶の変化～老いの神話にせまる 第3回 記憶への影響要因～物忘れを起こしやすい人は誰か 第4回 記憶力の維持と改善～改革のテクニック 第5回 認知症の物忘れと老化による物忘れ～認知症の基礎知識 第6回 認知症予防の取り組みを考える～食事？運動？薬？ 第7回 認知症の人へのケア～サポーターという考え方 第8回 認知症になっても安心して暮らせるまち作りを考える 【学生へのメッセージ】 高齢者をはじめとする、人々の健康に対する意識の向上を授業の目標としています。高齢の方をはじめとし、健康、保健、医療、福祉に興味のある学生の参加を期待します。授業では、講義と共に学生同士でのグループディスカッションがあります。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・認知症と生きる〔改訂版〕（井出訓・山川みやえ／放送大学教育振興会／¥2,750／ISBN=9784595322631） 【その他（特記事項）】 身体に障がいをお持ちの方またはそれに準ずる方で、授業の記録が学修上必要と認められる方は、そのための機器の持ち込み・使用を許可します。事前に申し出てください。
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	物忘れ予防、 認知症予防		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	48名		
担当講師	井出訓 放送大学教授		
日程実施時間	4月19日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 4月20日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

科目コード	2667592	授業概要	私たちの身近で暮らす生き物たちの不思議な生態や生き物同士の相互作用の理解を通して、生態系の仕組みや生物多様性について学びます。また、生物多様性や生態系を保全することの意義や、様々な地球環境問題に関して私たちはどんなことに留意すべきなのかを考察します。 【授業テーマ】 第1回 地球はなぜ緑で覆われているのか：植物の被食防御戦略 第2回 生物間相互作用が産み出す生物多様性：植物と植食者の関係 第3回 宿主をたくみに操る生物たち：寄生者による宿主操作 第4回 生物たちの生き残り戦略：一見奇妙な行動の意味を理解する 第5回 生物多様性の危機1：地球温暖化が生物多様性に及ぼす影響 第6回 生物多様性の危機2：侵略的外来種が生物多様性に及ぼす影響 第7回 佐賀の貴重な生き物たち：森から海まで 第8回 生物多様性のこれまでとこれから：私たちにできること 【学生へのメッセージ】 身近な生き物を対象とした研究成果を紹介しながら、生物多様性や生態系について一緒に考えてみましょう。生物に関する予備知識がなくても受講可能です。 【受講前の準備学習等】 気候変動や侵略的外来種と生物多様性の関係について、また生態系サービスについてインターネット等で調べておいてください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 配布した資料を参考にして毎回の授業で学修した内容に関して復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 天候を見て、短時間野外に出て植物や昆虫の観察をする場合がありますので、活動できる服装や靴でお越しください（両日とも雨天の場合には室内学習のみとします）。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	身近な自然から考える 生物多様性		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	42名		
担当講師	徳田誠 佐賀大学農学部教授		
日程実施時間	4月19日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 4月20日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室		

科目コード	2660580	授 業 概 要	＜授業概要＞ 現代社会は雇用社会であると言われます。それは就業者の約9割が勤め人（被用者）であるからです。企業等の組織のなかで人が効率的に働くにはどうすればよいかという問題は、私たちの社会においてとても重要です。この講義では人事管理と組織目標に焦点を当てながら、社会全体における人材育成についても考えていきます。授業の後半では多様な労働者、企業倫理等のトピックも取り上げます。可能な場合はグループ討論やレポートを取り入れます（レポートは成績評価には使用しません）。 ＜到達目標＞ 人的資源管理の基礎を理解することを目標とします。社会人学生にとっては身近な分野であると思いますが、歴史的な背景、あるいは理論を紹介するなど広い視野から考えることを目指します。 【授業テーマ】 第1回 人的資源管理とは 第2回 労働市場の変化 第3回 職業キャリアの形成 第4回 まとめ等 第5回 日本的人的資源管理① 第6回 日本的人的資源管理② 第7回 現代のトピック（多様な労働者等） 第8回 人的資源管理のフロンティア（グローバル化、企業倫理等）・まとめ等 【学生へのメッセージ】 人的資源管理はどなたにとっても身近な事柄です。社会全体から俯瞰して、一緒に考えたいと思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	人的資源管理		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	48名		
担当講師	ハラダ ジュンコ 原田 順子 放送大学教授	授 業 概 要	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・新時代の組織経営と働き方（原田順子・若林直樹編著／放送大学教育振興会／¥2,640／ISBN=9784595322099） 書店に在庫がない場合、放送大学付属図書館で借りることができます。
日程実施時間	4月26日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 4月27日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

科目コード	2667576	授 業 概 要	佐賀藩の成立と発展の歴史について学びます。城下町の整備と長崎街道沿いの産業・商業の発展の歴史を中心に学びます。座学と佐賀市内の史跡・関連施設におけるフィールドワークを組み合わせた授業です。 【授業テーマ】 第1回 佐賀藩の成立 第2回 本藩と支藩 第3回 フィールドワークの事前学習 第4回 フィールドワーク（松原神社、佐嘉神社等） 第5回 城下町の整備と長崎街道 第6回 フィールドワーク（鍋島緞通、長崎街道等） 第7回 フィールドワーク（佐賀市歴史民俗館） 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 佐賀藩の成立と発展の歴史について、基礎的な内容をわかりやすく解説します。座学と佐賀市内の史跡・関連施設におけるフィールドワークを組み合わせて理解を深めます。 【受講前の準備学習等】 ①佐賀藩の成立と発展の歴史に関する書籍を探して読んで予習しましょう。 ②シラバスに記載されているフィールドワークを行う史跡・関連施設のホームページを閲覧して予習しましょう。 ③受講後は、受講時に配付する資料を読んで、授業内容を復習してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 フィールドワークを行いますので、歩きやすい服装や履き物で参加してください。雨天の場合も現地研修を行いますので、雨具を必ずご持参ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	佐賀の歴史と文化 1		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ナカオ ユカリ 中尾 友香梨 佐賀大学 全学教育機構教授	授 業 概 要	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	4月26日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 4月27日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀市歴史民俗館 (旧古賀家1号室等) (佐賀県佐賀市柳町3-15)		

科目コード	2667525	授 業 概 要	この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD : Bring Your Own Device) で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 私たちが毎日の生活を過ごすうえで「お金」(金融)は欠かせません。本講義では、金融リテラシー (金融に関する知識・判断力) を高め、より自立的で安心かつ豊かな生活を送っていくために必要な力 (実学) を身につけることを狙いとしています。そのため、社会における金融・経済の構造や金融・生活に関する制度・仕組みなど、将来に向けて最低限必要な金融リテラシーについて学習します。 【授業テーマ】 第1回 金融の基礎知識 (日本銀行佐賀事務所・西崎) 第2回 ライフプランと保険 (生命保険協会佐賀県協会・斉藤) 第3回 ライフプランシミュレーション (生命保険協会佐賀県協会・斉藤) 第4回 資産形成のイロハ&ローン・クレジット (佐賀銀行・松本) 第5回 証券業界・証券市場って何だろう (日本証券業協会九州地区協会・山本) 第6回 知っておきたい年金のはなし (日本年金機構佐賀年金事務所・鈴山) 第7回 金融トラブル (財務省福岡財務支局・笠) 第8回 ワークショップ (財務省福岡財務支局佐賀財務事務所・大野) 【学生へのメッセージ】 本講義は皆さんが自らの将来についてより深く考える機会となることを目標としています。座学で習得した知識を活用し、シミュレーションやグループワーク等のアクティブラーニングを行いながら学びを深めていきます。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用ください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 - 持参する端末 ノートパソコンを持参してください (タブレット端末、スマートフォンは不可) ※パソコンを使用するのは5月17日 (土) 第3時限のみです。 - OSの指定 種類は問いません (Windows、macOS、ChromeOS、Android等)。 - ソフトのインストール ブラウザを使用しますが、種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。 - その他受講生が当日用意するもの 筆記用具 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他 (特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター (コード)	41A		
クラスコード	K		
科 目 名	金融リテラシーを身につける		
科 目 区 分	導入科目：社会と産業		
ナンバリング	220		
定 員	24名		
担 当 講 師	オオノ ユウヤ 大野 優也 佐賀財務事務所総務課企画係長 ニシザキ ジュンイチ 西崎 淳一 日本銀行佐賀事務所事務所長 サイトウ カズヒロ 斉藤 数弘 公益財団法人生命保険文化センター生活情報室調査役 マツモト ムネヒロ 松本 宗大 佐賀銀行営業統括部調査役 ヤマモト アイ 山本 愛 日本証券業協会九州地区協会FP講師 スズヤマ ミチ 鈴山 美智 佐賀年金事務所お客様相談室長 リュウ テツヒロ 笠 哲浩 福岡財務支局金融調整官付上席調査官		
日程実施時間	5月17日 (土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 5月24日 (土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実 施 会 場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

科目コード	2658569	この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD : Bring Your Own Device) で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学における代表的実験を2つ(ミューラー・リヤー錯視、情報伝達(バートレットの系列的再生))取り上げて、心理学の実験方法、統計処理を含むデータ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生は原則として8回の授業すべてに出席し、2つの実験すべてのレポートを提出する必要があります。 【授業テーマ】 第1回 心理学実験とレポートの構成 第2回 データ分析のための統計法 第3回 実験実習1 (ミューラー・リヤー錯視) 第4回 実験実習1のデータ分析とレポート執筆指導 第5回 実験実習1のレポートへの講評 第6回 実験実習2 (情報伝達) 第7回 実験実習2のデータ分析とレポート執筆指導 第8回 まとめ 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 無線LAN (Wi-Fi) 接続のできるノートパソコンを持参してください。 2. OSは、Windows10または11のみです (これは実験プログラムの都合によります)。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge (エッジ)、Google Chrome (クローム)、Mozilla Firefox (ファイアーフォックス)、Safari (サファリ) のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・レポートは、原則として授業中に、持参した端末から放送大学佐賀学習センター宛にメール送信をしてもらいます。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・心理学実験・研究レポートの書き方―学生のための初歩から卒論まで (B.フィンドレイ 著、細江達郎、細越久美子 訳／北大路書房／¥1,430／ISBN=9784762820465) 【その他 (特記事項)】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験1	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	15名	
担当講師	オカジマ イチロウ 岡嶋 一郎 西九州大学 子ども学部教授	
日程実施時間	5月24日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 5月25日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第4研修室	

科目コード	2667533	授 業 概 要	情報と情報システムを理解するために、情報とメディア、情報のデジタル化、コンピュータとプログラミング、データの蓄積と活用、情報システムについて基礎的事項を概説します。 【授業テーマ】 第1回 情報と問題解決 第2回 メディアと情報技術の発展 第3回 情報のデジタル化 第4回 コンピュータの構成 第5回 アルゴリズムとプログラミング 第6回 モデル化とシミュレーション 第7回 データベースとデータ活用 第8回 情報システムの信頼性と安全性 【学生へのメッセージ】 現代社会において私たちは情報と情報システムによって支えられています。私たちがより充実した安全な毎日を送るために、情報と情報システムについて幅広く学びます。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	情報科学入門		
科目区分	導入科目：情報		
ナンバリング	210		
定員	42名		
担当講師	ホリ ヨシアキ 堀 良 彰 佐賀大学理工学部教授		
日程実施時間	5月31日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月1日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室		

科目コード	2658615		この授業は自分用パソコン持ち込み方式(BYOD：Bring Your Own Device)で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学の基礎的な実験4つ(印象形成、自由再生による記憶の系列位置効果、アフォーダンス、顔面フィードバック)を取り上げ、実験の実施、関連事項の解説とレポートの書き方の説明を行います。受講生の皆さんは、実験では実験者や実験参加者の役割を果たし、その後、得られたデータの集計や分析を行った上で、レポートを作成します。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、4つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。 【授業テーマ】 第1回 ガイダンス・顔面フィードバックの実施 第2回 顔面フィードバックの解説・レポート指導 第3回 自由再生による記憶の系列位置効果の実施 第4回 自由再生による記憶の系列位置効果の解説・レポート指導 第5回 アフォーダンスの実施 第6回 アフォーダンスの解説・レポート指導 第7回 印象形成の実施 第8回 印象形成の解説・レポート指導 【学生へのメッセージ】 実験結果を記録・集計・保存するために、ノート、電卓、USBメモリを持参して下さい。またレポート作成やグラフ作成などで、パソコンを使った作業もあるため、ワードやエクセルに慣れている事が望ましいです。なお、顔面フィードバック、アフォーダンスの実験では持ち物・服装に指定がありますので、「受講者が当日用意するもの」欄を確認の上、準備をしてください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。なお、レポートのテーマは授業内で実施した実験に関するものです。レポートは、後日提出とします。 【受講者が当日用意するもの】 - 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 - OSの指定 WindowsまたはmacOSのいずれかが必要です。 - ソフトのインストール ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 - その他 ・USBメモリーを必ず持参してください。 ・必要な人はマウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 - 実験にて必要な物 ・筆記用具、電卓、定規、太めの軸のサインペン(1日目1コマ目の実験で口にくわえます) ・動きやすい服装と靴(2日目5コマ目の実験でハードルをまたいだり、くぐったりします) ※レポートを手書きで作成する場合は、方眼紙、のり、はさみを持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 - 認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎(日本心理学会、認定心理士資格認定委員会/金子書房/¥2,750/ISBN=9784760830312) - 心理学実験法・レポートの書き方(西口利文、松浦均/ナカニシヤ出版/¥2,420/ISBN=9784779502378) 【その他(特記事項)】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責にやらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(開設科目一覧P5参照) 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験2		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	ヒダカ モトノブ 日高 茂 暢 佐賀大学教育学部講師	授業概要	
日程実施時間	5月31日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 6月1日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室	授業概要	

科目コード	2667541	授 業 概 要	佐賀県では、米、大豆、みかん、海苔など多くの農林水産物が生産されています。この授業では、佐賀の特産物を中心に、それぞれの食べ物に含まれる特徴的な成分や病気を予防するような機能性について学びます。また、地域の特産品に付加価値を付け、地域の活性化に繋げる取り組みが活発に行われています。その事例として、これまで私が行ってきた商品開発プロジェクトについて紹介します。そして、実際に佐賀の特産品を用いた商品開発に挑戦してみましょう。 【授業テーマ】 第1回 穀類（米、小麦など）の科学 第2回 イモ類と豆類の科学 第3回 野菜と果物の科学 第4回 魚介類と藻類の科学 第5回 肉類と卵類の科学 第6回 佐賀の特産品を用いた商品開発プロジェクトの紹介（ヒシ、キクイモなど） 第7回 佐賀の特産品を用いた商品開発をやってみよう！（企画会議） 第8回 佐賀の特産品を用いた商品開発をやってみよう！（プレゼンテーション） 【学生へのメッセージ】 「佐賀の特産品」や「食べ物と健康」にご興味がある方は、ぜひ受講してください。また、商品開発も行いますので、一緒に楽しく魅力的な商品を考えましょう。 【受講前の準備学習等】 佐賀の特産品について調べておいてください。また、商品開発も行いますので、様々なアイデアを考えておいてください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。特に、商品開発での積極性を評価に加えます。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	佐賀の食べ物学		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	42名		
担当講師	ヤスダ ミドリ 安田 みどり 西九州大学 健康栄養学部教授		
日程実施時間	6月7日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月8日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室		

科目コード	2658640		この授業は自分用パソコン持ち込み方式(BYOD: Bring Your Own Device)で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他(特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験3		
科目区分	専門科目：心理と教育	授 業 概 要	2日間で、2種の実験を行い、それぞれ測定・データ入力・分析・レポート作成まで行います。実験は心理学における主要な研究方法の一つです。ただ単に、測定を経験するだけでなく、確からしい結論に至るための論理や工夫について学んでほしいと考えています。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、2つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。
ナンバリング	320		【授業テーマ】 第1回 講義：心理学における実験の重要性と実験計画 第2回 実験：「鏡映描写」 第3回 実験のまとめと実験計画についての補足 第4回 実験：「ストループ効果」 第5回 講義：実験の計画立案 第6回 講義：表計算ソフトを用いたデータ処理 第7回 講義：表計算ソフトを用いたデータ処理2 第8回 実験のまとめとレポートの作成指導
定員	24名		【学生へのメッセージ】 「仮説通りの結果が出ない」イコール「実験は失敗」ではありません。得られたデータをどう解釈するのがもっともらしいのか？その根拠は？どう確かめればよいのか？と繰り返し自分に問いを向けることがレポート作成において重要です。
担当講師	ハシグチ ススム 橋口 晋 長崎リハビリテーション学院 非常勤講師		【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究方法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究方法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。 統計学の基礎知識(t検定・有意水準・帰無仮説など)と表計算ソフトの操作(データ入力やファイル保存、コピー、貼り付け、グラフ作成、ピボットテーブルなど)を学んできてください。
日程実施時間	6月7日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月8日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	実 施 会 場	【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
			【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 キーボードが必要な実験を予定しています。ノートパソコンもしくは、キーボード付きタブレットを持参してください。 2. OSの指定 WindowsもしくはMac OSが望ましい。 3. ソフトのインストール ・文書作成ソフトが必要です。WordやGoogleドキュメント等種類は問いませんが、Wordで作成したファイルを配布します。 ・表計算ソフトが必要です。ExcelやGoogleスプレッドシート等種類は問いませんが、Excelを用いて説明します。 ・ChromeやSafariなどのブラウザが必要です。 4. その他 ・マウスを持っている方はマウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポート提出する場合、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
			【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
			【参考書】 ・初心者でもすぐにできるフリー統計ソフトEZR(Easy R)で誰でも簡単統計解析(改訂第2版)(神田 善伸/南江堂/¥4,620/ISBN=9784524218615) 無料で使える統計ソフトのマニュアル本です。
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		【その他(特記事項)】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責にやらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 ・色識別を要する実験課題があります。 ・測定・データ収集に要する時間に変動があるため、休み時間が前後します。

科目コード	2667550	授 業 概 要	レオ・カナーの報告から始まった自閉スペクトラム症（自閉症）に対する捉え方と療育の展開について、心理学・教育学・社会福祉の視点から検討し、その障害を軽減し、発達を促進するために不可欠となる社会性を高める療育のあり方、および発達の視点による支援について明らかにします。なお、授業は講義形式で行います。 【授業テーマ】 第1回 自閉症（自閉スペクトラム症）の最初の報告 第2回 心因論と遊戯療法 第3回 認知障害説と行動療法 第4回 受容的交流療法・感覚統合療法 第5回 生活療法（表象能力・象徴能力・観察能力・模倣能力の向上） 第6回 太田ステージ・SCERTSモデル 第7回 セルフマネジメント・サイコドラマ（心理劇） 第8回 社会適応能力を高める療育方法・まとめ 【学生へのメッセージ】 パワーポイントを使って講義をします。また、当日講義資料も配布します。受講した後で、授業内容を整理すると、どのようなことが大事なかが掴めますので、講義をしっかりと聞いていただければと思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	自閉スペクトラム症の理解と支援		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	48名		
担当講師	マツヤマ イクオ 松山 郁夫 鎮西学院大学 総合社会学部教授		
日程実施時間	6月14日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月15日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

科目コード	2667568	授 業 概 要	CMやPV、映画等における映像表現を巧みに用いた作品を鑑賞し、優れた構成や演出から映像デザインとしてメッセージの伝達や個性的な着想や表現が生まれることを理解してもらいます。また、CGやVR、デジタルファブリケーション等、デジタル表現がもたらすサイバー空間とフィジカル空間を結ぶ概念を大学のスタジオ見学やVR体験等により体感してもらいます。映像文化と社会との関係性、テクノロジーの発達と映像表現の可能性を紐解き、映像デザインの現在を考えていきます。 【授業テーマ】 第1回 「泣ける動画は何故泣けるのか？」感動させる映画のセオリーを考える 第2回 「CMから社会と自分を視る」社会と自分にとってのCMを考える 第3回 「ミュージックビデオを解説する」音と映像の関係性から映像表現の歴史、ボカロ文化まで 第4回 「VR、イメージと物語を考える」VRがもたらす身体と日常の変容を考える① 第5回 「映像文法と映像技法再考」多様な映像文法と技法による表現を概観しそこからプロットを考える 第6回 「光を紡ぐ、空間に配置する」プロジェクションマッピングという幻想と物体としての映像を考える 第7回 「VR、イメージと物語を考える」VRがもたらす身体と日常の変容を考える② 第8回 「映像収録スタジオ、ファブリケーションスタジオ見学」Society5.0におけるサイバー空間とフィジカル空間を融合させた世界を考える 【学生へのメッセージ】 映像は視覚情報として絶えず私たちと繋がっています。視るから体感するに変化してきた映像の多様性を知り、デザインするという能動的な行為は今後必要なスキルです。楽しみながら受講していただければ嬉しいです。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 例えば、受講者が好きな映画、ミュージックビデオ、CM等を客観的な視点で視聴しておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は所属コースのコース科目に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	映像デザイン ー映画からVRまで		
科目区分	総合科目		
ナンバリング	420		
定員	30名		
担当講師	ナカムラ タカトシ 中村 隆敏 佐賀大学 芸術地域デザイン学部教授		
日程実施時間	6月14日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月15日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀大学 (佐賀県佐賀市本庄町1)		